

## 「管内市町村社会教育・生涯学習関係職員等研修会（第2回）」事業報告

1 事業名 平成30年度 管内市町村社会教育・生涯学習関係職員等研修会（第2回）

2 期 日 平成30年11月14日（水）

3 参加者 22名

### 4 日 程

時 程	内 容
8:50	
9:10	受 付
9:20	開会行事
	研修1〈実践事例発表〉 「ワクワクを引き寄せ合う地域づくり」 飯塚市 立岩交流センター 主事 木原 真由美 氏
9:50	
10:00	研修2〈講話・演習〉 「コラボ型課題解決のレシピ」 特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子 氏
11:40	
11:50	閉会行事
	個別相談

### 5 活動の実際

#### 研修1

##### (1) 内容

研修1では、立岩交流センターの木原主事から、事業を通じた地域づくりについて、実践事例の発表を行いました。発表では、今まで実施した講座での反省点や参加した研修会での学びをいかした、新たな事業を実施するためのプロジェクトチームづくりについてお話がありました。

新たな事業を通じた地域づくりにつなげるために、プロジェクトチームで事業企画を進めていく過程にワクワクさせるような仕組みで人を集めていく工夫や、会議において自由に思いを伝え合う場面をつくり新たな人のつながりをつくっていく工夫について発表がありました。

##### (2) 活動写真



実践発表をする木原主事



実践発表を聞く参加者

### (3) 参加者の声

- 接点がない人で作り上げるプロジェクトチームは今後取り入れたいと思いました。
- 色んな人を巻きこんでいくことって大切だと思いました。
- 日頃、実践発表では成功事例を聞くことが多いのですが、今日はゼロからのスタートで苦労話もあり、共感できる部分が多く、「まつりプロジェクトチーム」の立ち上げなど、大変参考になりました。
- 講師料はどうされているのか、聞きたかったです。  
→福岡県NPOボランティアセンターが実施している「ボランティア人材育成講座支援事業」を活用しました。

## 研修2

### (1) 内容

研修2では、特定非営利活動法人ふくおかNPOセンターの古賀代表から、現代の地域が抱える課題と、その解決のための事業企画のポイントについて、講話と演習を行いました。

まず講話では、現代の地域課題として話題になっていることの紹介や、課題解決の事業に様々な主体を巻き込んで行くためのわかりやすい事業企画書を作成していくコツ等について説明がありました。

次に演習では、ワークシートを用い、特に対象を絞ること、結果目標と成果目標を明らかにすることを大切にしながら事業企画書の作成を行いました。

参加者にとっては、現在実施している事業を地域づくりにつなげ、企画を見つめ直す良い機会となった演習でした。

### (2) 活動写真



講話を行う古賀代表とそれを聞く参加者



演習を行う参加者

### (3) 参加者の声

- 具体的に対象を絞ること、またやりたいことも欲張らずに、長い目で事業を考えることを実践していきたいです。
- 目的≠目標であるというお話は心に残りました。目標も結果と成果・・・考えて取り組みたいです。

## 6 全体をとおして

今回の研修会は「地域づくり」、特に「多様な主体との協働」をテーマに設定しました。

地域が抱える課題が多種多様となっている現代において、その課題を解決していくためには、行政や企業のサービスに頼るだけでは難しく、市民(=NPO等)を含めた多様な主体を巻き込んでいくことが大切であることを確認しました。そのうえで人々をひきつける「学び」(=事業企画書)をつくっていくことがポイントであることがわかりました。